

ごとう通信

第 269 号

令和 5 年 5 月 1 日

コロナがなくなつたわけではありませんが、だいぶん日常生活が戻ってきましたね。個人的には月数回、原宿駅の竹下口に行く機会があります。竹下通りに外国人や若者がだいぶん戻ってきました。緊急事態宣言とかの頃は、あの竹下通りに数人しか歩いていないという光景を見ていたのでなんだかホツとします。



ここ数年、GWは家でおとなしくしていたのですが、今年には愛媛県と広島の実家への帰省予定です。愛媛は、西予市で行われる

ハーフマラソンに出場します。実は知人が西予市へ半移住していて、以前から素晴らしいところだと聞いていました。そこでハーフマラソンを機会に行くことにしました。そして愛媛から船で広島に向かう予定。どんな珍道中になるやら。

さて、最近のマイブームはオーディオブックです(Amazon オーディオブック)。単純に、本をナレーターの方が読んでくれるというものです。これがめっちゃくちゃ良い。活字で本を読むのも好きなのですが、難しい内容だと読む気がうせてしまうこともあります。それを読んでもらうと理解しやすかったりします。ですから、割と難しい内容のものを好んで聴いたりします。例えば哲学や政治、社会学や歴史など。コンテンツはかなり幅

広く取り揃えてあります。もちろん一回聴いてすべてを理解できることはないのです、音楽のように何回も繰り返し聴いたりしています。便利な時代になりましたね。

報道の在り方

新型コロナウイルスが2類から5類になるというニュースは聞かれた方は多いと思います。内容はともかく、これも1つの区切りだと思えます。そして今回のコロナ禍で報道についてはいろいろ考えさせられました。

現在でも1日の感染者数は全国で1万人。もちろん、それなりの治療法やワクチンの効果で重症化が少ないということはありませんが、数年前に